

福祉の  
つどい

ほのぼの大きな輪

功労者の表彰や体験発表



福祉活動に貢献のあった方がたの表彰や、今後の活躍をさらに充実するための「福祉のつどい」が、2月2日に開催されました。

匝瑳郡市健康優良・児童生徒を表彰

- 小学男子 1位 大木一久 (日吉小6年)
- 小学女子 2位 土屋弘美 (日吉小6年)
- 中学男子 1位 向後保明 (3年)
- 中学女子 2位 加瀬成子 (3年) (敬称略)



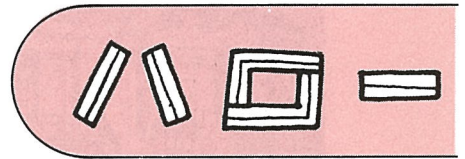
町民会館で行われた式典には、民生委員、各種ボランティア団体など約300人が参加しました。ほのぼのとした雰囲気の中、地味な活動を続けた、4団体、9個人の表彰や、「福祉のまちづくり」をテーマにした標語・作文・ポスターの入選者の表彰が行われました。その後、白浜小6年佐藤愛さんが「海岸清掃で思うこと」南条小6年岩沢康裕くんが「ボランティア活動を通して」と題して体験発表があり、勇

▲ホテルの宿泊券(ペア)を当てインタビューを受ける土屋さん



▲手作り品が展示販売されました

気をだしての体験に大きな拍手が送られました。また、歌謡ショーや町商業組合協賛によるホテル宿泊券や自転車などの豪華景品の当たる「お楽しみ抽選会」で楽しいひとときを過ごしました。ロビーでは、八日市場養護学校・北総育成園の生徒たちの作品の販売がありました。



このコーナーは、広報があったものを取材し、

ほのぼの交流



富下の加瀬秋子さん・伊藤英子さんの2人の主婦は、仕事の傍パンフラワー作りに励み、南条支所窓口にて四季の花を飾り来客の目を楽しませています。3ヶ月に一度花をかえ、現在は、シクラメン・チューリップ・さくらと先どりした花々が咲き誇っています。

花・巣作りが楽しみ



83歳になる富下の布施わかさんは、20年近くお医者さんにかかることもなく、楽しみな花作り・小鳥の巣作りに精を出しています。屋敷の草取り、朝の戸開けなどおばあちゃんの日課になっています。午後になると土間で巣作りに励む働き者です。

▼農協の窓口に彩りを添えています



通信員 布施隆平 (富下)

保・幼稚園児からお年寄りまで146人が町営グラウンドに集まり、三世代交流グラウンドゴルフ大会が開催されました。広いグラウンドでは、和気あいあいゲームが進み、好評の珍プレーが続出しほほえましい光景が見られました。

通信員 桜田定枝 (橋場)